

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	ムトス飯田まちづくり助成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	総務部	課等名	地域づくり・庶務課		包含する細々目	1	7	1	6	14	1		
政策	7 自立・連携した地域づくり												
施策	73 住民組織間の交流・連携の推進												
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間	S60	年度～	H18	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	活動を活性化させるために助成金を必要としているまちづくり団体	助成事業へ申請した団体数(団体)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			17	20		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
助成により資金的な困難を減らしてもらう。	助成をもらった団体数(団体)	18目標	20	最終目標	20	
		18実績	16	19目標	20	↑
		23目標	20	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	独創的で波及効果の高い地域づくり活動に対して一定額の助成を行う。ムトス推進委員会が助成金を募集、決定、交付を行う。	ムトス飯田まちづくり助成事業(応援事業)の上限額の変更及び募集 ムトス飯田まちづくり応援事業相談窓口の設置 ムトス飯田まちづくりの夢を語る発表会(応援事業の発表会) ムトス交流会(助成事業の成果の発表会) ムトス飯田賞の表彰 (仮称)ムトス飯田ファンドの検討	助成団体数(団体) ムトス飯田賞表彰団体数(団体)	16 2
	18年度の実績			
	19年度計画	地域自治組織のスタートに伴い、新しい「ムトス飯田支援事業」を検討		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	5,000	
一般財源			
事業費計(A)	5,000	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	0
	トータルコストA+B	6,788	0

特定財源内訳や補足事項	ふるさと基金繰り入れ
-------------	------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ ふるさと創世1億円を、市民活動のために有効利用して欲しいという市民の声(平成3年)	事業を取り巻く状況の変化 ・地域づくり活動の形態が多様化してきている。 ・市民の思いが市民の資金で循環するような仕組みづくり、企業やコミュニティビジネスの検討が必要になってきた。 ・また、地域自治組織の設置にともない、このムトス飯田事業のあり方も検討する。	事業に対する市民や議会の意見 ムトス助成金が、地域づくり活動の活性化に役に立っている。
--	---	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 予算を増額させることにより、より多くの団体を応援できる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 地域自治組織のスタートに伴い、まちづくり、地域づくり団体を分類し、支援事業を拡大対象としていく。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 活動団体からの助成の希望は非常に多く、活動の活性化に寄与している。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 意図が達成されることにより、地域活動が活発化されるため。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 長野県にコモンズ支援金という類似事業があるが、市民が参加して助成金を決定する事業この事業だけのため、統合は不可能。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) まちづくり団体の活性化は、市の活性化につながる。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) ムトス飯田推進委員会によって、公正に助成決定されている。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) ムトス飯田推進委員会によって、公正に助成決定されている。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) この受益者は、助成をした団体であるが、これらの団体は地域づくり、まちづくり活動により市民へ貢献しているため、受益者負担は妥当であると考えられる。また、上限事業費の7割、すなわち3割の自己負担は、他の助成金事業と比べても均衡はとれており負担は妥当である。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> 〇〇年度 <b>具体化</b>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 平成19年度は、基本構想などがスタートする年あたり、多様な主体が担う地域づくり、まちづくりを実施するため新しいムトス飯田支援制度を検討する。  上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法 ・平成19年度は、新しいムトス飯田支援制度を検討する。
---	-----------------------------------	---

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	